

親と子と指導員の心をつなぐ学童通信 通巻No.2624
 2008年度
 NO.48
てだのふあ
 中川学童保育所
 港区七番町4-8-16 TEL&FAX 651-5196
 E-mail info@lovekids-dream.com
 URL http://lovekids-dream.com

どうなった？ パブリックコメント

私たちの願い、想いは...?
 寄せられた25,706件

2009年4月、名古屋の放課後施策に新たな動きがあります。それは『名古屋版・放課後子どもプラン』の施行であり、この間の市の説明から検証すると、学校の中でトワイライトと学童と一緒にやってしまうという乱暴なもので一このプランが実施されると確かに校外へ出での移動がなくなるため、一つの安全は確保されるかもしれませんが、また、市が行うため容体利用できるかもしれません。しかしこのプランの学童には、これまで私たちが諸先輩から引き継ぎ築いてきた、もっと大切なものが見えません。

さらに、モデル事業として一区一校で実施されるこの事業が順次拡大すると、今ある学童が立ち行かなく恐れがあり、つぶれてしまう学童が出ることは必至です。

- こうした大きな流れの中、今、私たちにできることは、
- このプランで実施される学童が私たちの望むものになるように
 - それ以上に、今ある学童の充実がはかれるように

市へ、私たちの声を届けることです。

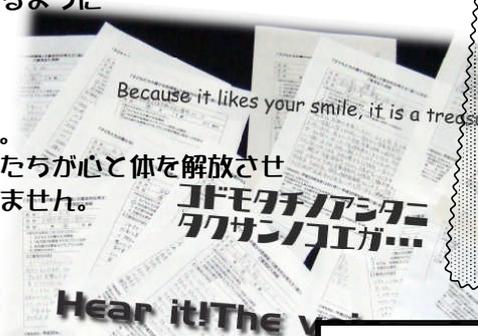
それがパブリックコメントです。

私たちが大切にしたいもの、それは子どもたちの笑顔です。

学童保育所は専用室があり、専任の指導員が居て、子どもたちが心と体を解放させホッとすることができる“放課後のおうち”でなければなりません。

さあ、皆さんの想いを、声を！

名古屋市、同プランの基本的な考え方を変更せず、モデル事業の実施の協議に！



名古屋市、私たちの想いは無視！？

上記の経過と状況の中で6月に取り組んだパブリックコメントには、全市から25,706件という実に多くの声が寄せられました。

中川学童の父母の皆さんも、切実な想いを寄せて下さいましたね。

本来なら、こうした意見を取り入れ『名古屋版放課後子どもプラン』に対する「基本的な考え方(案)」は変更されて、「基本的な考え方」として出されなければならないのに、この「基本的な考え方」は表紙から(案)がとられただけで、中身は(案)とは一言一句違わぬものでした(-.-#)。

また、このことを伝える右・中日新聞の記事(右・参照)もヒドイもので「賛成は、事業の実施を前提とした要望など約11,000件」とありますが、ここにはきつとこのプランには賛成ではないものの“実施するのであれば、こうでなければならない”“実施するのであれば、こうあってほしい”“実施するのであれば、こうでなければ認められない”等の基本的には反対の意見も含まれているのではないかと思います。それをひとまとめに「賛成」にされてしまうとは！

このことに対して、小出(父)さんは、早速抗議メールを中日新聞社へ送りました。



こうした市の動きに対し、 市長へ要望署名を届けます！

—1ヶ月で、名古屋市全体で20万筆の署名を集めよう！—

こうした名古屋市の大きな流れに対して、市長へ要望署名を取り組むので、大変急ではありますが、ご協力をお願いします。

- ★詳細は裏面を！
- ★本日お子さんに関係用紙を持たせます。

署名の取り組み終了！OBの皆さんご協力ありがとうございました。

9月28日
↓時点では



(第3種郵便物認可)

反対意見5000件

放課後子どもプラン

市は、来年四月からモデル事業を始める「放課後子どもプラン」に対し、一万五千七百六件の市民意見が寄せられたと発表し、およそ五千件は反対意見だったが、市は同プランの基本的な考え方を

え方を変更せず、モデル事業の実施に向けた協議を進める。市によると、三、四十年代の保護者の関心が高く、件数はこれまで最も多かった意見で最も多かった意見で、募集の十倍以上だった。

賛成は、事業の実施を前提とした要望など約一万一千件。反対は「学童保育所の存続が難しくなる」など、今後の学童保育のあり方を心配する声が多かったが、市側は「モデル事業の検証結果を踏まえて、あらためて検討する」と述べるにとどまる。

放課後子どもプランは、全児童が対象の「トワイライトスクール」と、保護者が昼間のいない児童を対象にした「放課後児童クラブ」(学童保育)を一体化。モデル事業は十六カ所の小学校で行